

平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震について

平成 20 年 06 月 15 日（09:30）現在
官邸対策室

1. 地震の概要（気象庁）

- (1) 発生日時 平成 20 年 06 月 14 日 08 時 43 分頃
- (2) 震央地名 岩手県内陸南部（北緯 39 度 02 分、東経 140 度 53 分）
- (3) 震源の深さ 8 km
- (4) 規模 マグニチュード 7.2（推定）
- (5) 各地の震度（震度 5 強以上）
- 震度 6 強 岩手県奥州市
宮城県栗原市
- 震度 6 弱 宮城県大崎市
- 震度 5 強 岩手県北上市、一関市、金ヶ崎町、平泉町
宮城県加美町、涌谷町、登米市、美里町、名取市、仙台市、利府町
秋田県湯沢市、東成瀬村
- (6) 津波 この地震による津波の心配なし
- (7) 余震情報（15 日 09:00 現在）
震度 1 以上の余震 260 回
最大余震 09:20、マグニチュード 5.7
- (8) 東北地方の気象の予想
15 日は、宮城県、岩手県は概ね晴れ、秋田県は曇りで昼過ぎから晴れる。風は全般に弱い見込み。
宮城県、岩手県の内陸では霧の発生している所があるが、昼前に消散の見込み。
明日（16 日）は、岩手県、秋田県では曇りで午前中一時雨、宮城県は晴れで昼前から時々曇りの見込み。

2. 被害状況（未確認情報を含む）

- (1) 人的被害（消防庁 15 日 07:45）

県名	死者	行方不明	負傷者	負傷者の内訳
岩手県	2		30	
宮城県	2	12	96	重傷 18、軽傷 78
秋田県			14	重傷 3、軽傷 11
山形県			1	軽傷 1
福島県	1		2	重傷 1、軽傷 1
合計	5	12	143	

【主な人的被害】

- ・岩手県 一関市において、地震に驚き道路に飛び出し、交通事故死
奥州市において、胆沢ダム建設工事現場の落石により死亡
- ・宮城県 栗原市において、土砂崩れにより 2 名死亡
- ・福島県 いわき市において、岩場にいたところ地震の落石で海へ転落して死亡

※なおこのほか、湯浜温泉の車両転落による死亡情報あり（警察の検死未実施）※¹

(生き埋め・孤立情報等)

○生き埋め・行方不明情報

- ・宮城県栗原市駒ノ湯温泉で、建物の一階部分が倒壊し、生き埋め 7 名（宿泊客 2 名、従業員 3 名、経営者の家族 2 名）、警察、消防、自衛隊で捜索活動→2 階の捜索終了、不明の発見なし、今後 1 階の水を抜き、捜索予定（警察庁 08:45）
- ・宮城県栗原市の花山本沢水無地区において、作業員 1 名行方不明。生き埋めの可能性→日没のため活動終了（消防庁 14 日 20:15）→**捜索再開**（警察庁 15 日 04:35）
- ・宮城県栗原市花山で土砂災害で車 1 台埋もれている（消防庁 14 日 11:04）
→女性 1 名救出済（軽傷）、男性 1 名救助済（けが無し）。（消防庁 14 日 19:20）
- ・湯浜温泉（湯浜から南 2 km）において、車 3 台埋没の目撃情報あり。2 台の車両を確認。男性 1 名、女性 1 名を救出（消防庁 15 日 01:00）また、潰れた車内から 1 名（社会死状態）を発見（※ 1 と同じ）し、搬送中、さらに車両 1 台を発見（人員の有無不明）し、捜索中（警察庁 09:00）
- ・宮城県若柳町行者の滝で 1 名行方不明、警察 22:00 捜索中断（警察庁 14 日 21:26）
→**捜索再開**（警察庁 15 日 04:35）
- ・宮城県栗原市白糸の滝で老夫婦 2 名が転落、流された→15 日捜索予定（消防庁 14 日 22:20）→**捜索再開**（警察庁 15 日 05:00）
- ・荒砥沢ダムに車両 2 台埋まっているとの情報→**捜索開始**（警察庁 15 日 05:00）
- ・岩手奥州市県 R 397 においてマイクロバス 1 台（20 名乗り）が土砂崩れに巻き込まれ斜面を 30 m ほど落下、負傷者 7 名を含む 20 名を自衛隊ヘリで搬送。救助完了（消防庁 14 日 21:00）。
- ・宮城県仙台東部道路でバスが走行中にバウンドし負傷者 24 名（重傷 1 名、軽傷 23 名）（警察庁 15 日 06:00）

○未帰宅情報（警察庁 08:38）

- ・栗駒山に登山に行った埼玉県在住者 1 名が未帰宅
- ・タケノコ狩りに行った山形県在住者 1 名が未帰宅
- ・秋田県在住者から山菜採りに行った両親 2 名が帰宅しないとの届け出

○孤立情報

- ・宮城県栗原市いわかがみ平登山口で 60 名孤立をヘリが発見→午後、新潟県防災ヘリ、自衛隊ヘリ等により全員救出完了（消防庁 15 日 05:34）
- ・R342 号矢櫃（ヤビツ）ダム周辺で、祭時（マツルベ）大橋の損傷により 19 名孤立、

- ヘリ3機で搬送完了（警察庁14日18:15）→確認のため05:15より捜索再開→孤立者4名発見、救出完了（警察庁15日09:30）
- ・15日03:10 耕栄地区「山脈ハウス」（ハイルザームの手前）に周辺住民30名が自主避難。全員を避難所にヘリ搬送の予定（消防庁15日06:15）
 - ・岩手県一関市祭時（マツルベ）付近で孤立（消防庁14日10:55）→付近の健康の森に避難した住民をヘリ（自衛隊、海保、消防）で98名救出、ほか2名自宅（孤立継続）（消防庁15日02:52）
 - ・岩手県一関市須川温泉で従業員・客約100名孤立（消防庁14日11:50）
→全員が自主下山完了（消防庁15日02:52）
 - ・温泉・プール施設「ハイルザーム栗駒」（宮城県栗駒温泉付近）に約100名が、「山脈ハウス」に約50名が孤立→自衛隊、海保、宮城県等のヘリにより全員救出完了（消防庁15日06:30）
 - ・祭時（マツルベ）地区付近の市野々原地区内の公民館に30名が孤立→28名が本寺小学校へ避難、2名は自宅（孤立継続）（消防庁15日02:52）
 - ・祭時大橋の東側で40名が孤立→自衛隊ヘリ等で38名救出、本寺小学校へ避難、ほか2名自宅（孤立継続）（消防庁15日02:52）
 - ・温湯（ぬるゆ）（宮城県栗原市）で20名が孤立→自衛隊ヘリにより救助完了（防衛省14日22:30）
 - ・真湯（しんゆ）地区（鳥帽子山付近のR342号）にて47名孤立→消防、自衛隊ヘリにより45名救出。15日朝、残留者救出完了（消防庁15日06:23）

（避難状況）（消防庁15日08:10）

- ・岩手県 75名（一関市本寺小学校53名、奥州市愛宕農業者トレセン他3ヶ所2名）
- ・秋田県 3名（東成瀬村手倉交流センター）
- ・宮城県 207名（栗原市）

（2）建築物被害（消防庁15日08:30）

- ・岩手県 全壊1棟、半壊1棟、一部破損49棟
- ・宮城県 全壊1棟、半壊10棟、一部破損42棟
- ・秋田県 一部破損1棟、火災1件
- ・山形県 一部破損1棟

（3）交通遮断状況

（鉄道）

- ・新幹線は、平常通り運転（JR東日本HP 15日07:33）

（道路）

- ・岩手県 道路損壊6ヶ所、橋梁損壊2ヶ所
- ・秋田県 道路損壊5ヶ所
- ・山形県 道路損壊2ヶ所（警察庁15日06:00）

（海上航路）

- ・航路標識の外観点検終了。20:30 灯火の正常点灯の確認終了。異常なし（海上保安庁

14日 23:30)

(4) ライフライン等の状況

- ・原発：女川1～3号機、東通、福島第一1～6号機、福島第二1～4号機 現在までの所異常が確認されていない（経済産業省 15日 07:00）
- ・福島第二4号機使用済燃料プールで合計4リットルの水の飛散。プラント共用のサイトバンカービニ屋で合計15リットルの水の飛散あり。サイトバンカービニ屋2階のピットの底部内に水溜まり約1リットル。2号機原子炉建屋4階東側通路空調ダクトの下に水溜まり約9リットル。なお、両施設からの外部への漏洩は確認されず。（経済産業省 15日 07:00）
- ・停電：343戸（原子力安全・保安院 15日 07:00）
 - 岩手県奥州市 28戸
 - 宮城県栗原市 315戸

土砂崩れや道路の寸断などにより、復旧作業に着手できない状況となっている地域を除き、送電は復旧。現在、停電している地域については、今後の道路等の回復状況により順次作業を進める。
- ・ガス：復旧すべき箇所は仙台市市営ガスの修理中の1件を除き全て復旧（原子力安全・保安院 15日 05:00）
- ・断水：（厚生労働省 14日 22:00）
 - 岩手県 541戸（奥州市515戸、一関市26戸）
 - 宮城県 2424戸（栗原市）
- ・宮城県内で一部電話不通（95加入電話）（総務省 15日 07:00）
- ・宮城県内で携帯電話基地局（2社4基地局）が停波中（総務省 15日 07:00）

3. 政府の主な対応

14日

- ・08:50 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- ・08:50 総理指示 被災状況の早期把握と迅速な広報及び被災者等ある場合、救助に全力を挙げること

（緊急参集チーム確認事項）

1. 岩手県内陸南部を震源とする地震について、県や市町村と一体となって、被害状況を早急に確認し、速やかな救出・救助活動に全力を尽くす。
 2. 広域に及ぶ被害が確認された場合には、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣による被災地への広域応援を行い、必要に応じ増援し、被害の状況に応じて万全の体制を期する。
 3. 引き続き、県や市町村との的確な連携を図りながら、政府一体となって適切に対応する。
- ・11:38 政府調査団（団長：防災担当大臣）出発、13:35 現地着（派遣場所 岩手県一関市、宮城県栗原市）
 - ・15:20 総理指示
現地では、孤立されている方々や、行方不明になっている方々がまだまだ

いる可能性がある。

現在でも救出が進みつつあるが、日没が迫っている。今後さらに、警察、自衛隊、国交省などのヘリを効果的に運用して、可能な限り状況把握に努め、救出活動に全力を挙げてもらいたい。

- ・ 16：30 政府の現地連絡対策室設置（宮城県栗原市役所内）
- ・ 政府調査団、団長以下19名は現地に滞在。他の要員は18：34現地から市ヶ谷に向けて離陸、20：30市ヶ谷着陸
- ・ 一関市、栗原市に災害救助法を適用（厚生労働省19:00）
- ・ 18：50 総理指示
 - ① 救助活動及び被害の確認作業について、夜間においても引き続き全力で実施せよ。
 - ② 被災者の避難・救援にも万全を期せ。
- ・ 20：00 災害対策関係省庁連絡会議 開催
 - 申し合わせ事項
 1. 行方不明者の捜索を含め、被災者の救出・救助活動に全力を尽くすこと。
 2. 被災地方公共団体と連携・協力して、被害状況の的確な把握に努めること。
 3. 被災者が1日も早く安心した生活に戻れるよう、避難者等の支援対策に尽力すること。
 4. 道路や水道等のライフラインの応急対策や災害復旧に適切に対応すること。
 5. 引き続き大規模な余震が発生する可能性があることから、応急対策活動に際しては留意するとともに、被災者の安全確保に万全を期すこと。
 6. その他被災者の支援、被災地の早期復旧・復興に向けて、関係省庁が一体となって対応に万全を期すこと。

15日

- ・ 09：00 緊急参集チーム招集

4. 各省庁の活動状況

(対応勢力) 警察庁	287人、ヘリ 7機	被災地外からの出動 (15日 06:00)
消防庁	793人、ヘリ13機	被災地外からの出動 (15日 07:45)
防衛省	約1100人、車両約280両、航空機19機	(15日 07:00)
海上保安庁	巡視船2隻、航空機10機、特殊救難隊1隊	(15日 08:20)

(情報収集活動等)

- ・ 陸自ヘリ5機、偵察隊、海自固定翼機2機、ヘリ2機、空自固定翼機3機で偵察活動を

実施中（防衛省 14 日 10:40）

- ・海保 船艇 25 隻、航空機 11 機による沿岸部被害状況調査の結果、沿岸部に被害を認めず（海上保安庁 14 日 14:20）

（広域応援等）

（1）緊急消防援助隊（消防庁）

緊急消防援助隊 陸上部隊 184 部隊、航空部隊 13 機出動 総計 793 人
(消防庁 15 日 07:45)

（2）広域緊急援助隊（警察庁）

- ・広域緊急援助隊（福島県警、埼玉県警、警視庁、山形県警、青森県警、新潟県警、茨城県警、栃木県警、群馬県警、千葉県警、神奈川県警、山梨県警、長野県警、静岡県警）が岩手県、宮城県に派遣
- ・警察ヘリ 7 機（警視庁 3 機、青森県警 1 機、千葉県警 1 機、神奈川県警 1 機、北海道警 1 機）
- ・警察機動通信隊を派遣（福島、青森、茨城、関東管区）

（3）災害派遣（防衛省）

- ・10:50 岩手県知事より第 9 特科連隊長に災害派遣要請
- ・11:00 宮城県知事より第 6 師団長に災害派遣要請

（活動中の部隊）

陸自 4 個ヘリ部隊、2 個偵察隊、2 個連隊、3 個大隊、1 個施設団
海自 3 個航空群、1 個教育航空隊
空自 2 個航空団、2 個救難隊

（4）特殊救難隊等（海上保安庁）

- ・特殊救難隊 1 隊、機動防除隊 1 隊派遣
(ヘリ計 4 機派遣)

（5）D M A T（厚生労働省 14 日 19:00）

- ・D M A T（災害派遣医療チーム）36 チームを派遣、現地にて 27 チームが活動中
- ・千葉県ドクターへりが被災地にて活動中
- ・福島県ドクターへりが被災地にて活動中

（6）緊急災害対策派遣隊（T E C—F O R C E）等（国土交通省）

- ・本省、地方整備局等からなる T E C—F O R C E を 14 日現地に派遣
- ・気象庁地震観測班派遣済み
- ・照明車 18 台、衛星通信車 3 台等を派遣

5. その他

14 日

08:43 宮城県・岩手県・秋田県災害対策本部設置（消防庁 14 日 10:20）